（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年八月十七日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百二十三號　（一）

臺灣新幸報

本紙夕刊廿二頁
國體發揚人江口清作
本社一ヶ月金八圓
臺北市榮町三丁目一番地
社長兼主筆　花澤一二
電話（三）二三五〇番
臺灣日日新報社
臺北市榮町三丁目一番地
電話（三）二三五〇番

小磯大將を交へて
來週再び四閣僚會議
蘭印特派問題に關し

【東京十六日發同盟】蘭印特派問題に關しては政府は愈〻なる無關係を裏書きし、十六日は關係四閣僚會議を行つたがこの結果については何等發表を行はず、單に閣僚會議に入つてから始めて、蘭印側のものでなく、政府は來週に入つて再び閣僚會議を行ふことゝなつた

南支陸鷲出動
廣西各地を猛爆

【○○基地十六日發同盟】南支陸軍航空隊は久振りの快晴に惠まれ出動、廣西各地の敵軍事施設に對し猛爆を加へ、多大の戰果を收めたが、なほ同航空部隊は十六日午後も出動、廣西省西北方百五十粁の○○の敵軍事施設に對し猛爆を加へた

浙贛沿線の爆撃戰果

【○○基地十六日發同盟】中支航空部隊は十五日浙贛沿線の敵軍事施設に對し猛爆を加へたが、その戰果は次の如くである

五日浙贛鐵道の攻撃を實施せり十四日以來以東を以て攻撃目標とせる十五日は廣信以西を目標とし殊に廣信以西については地上

敵の舟艇軍を砲撃

【上海十五日發同盟】浙江省某地發】浙江省某地方面に於ける警備中の我が陸軍は十四日午後十五日の兩日に亙り約三十隻の敵舟艇軍を砲撃、次いで敵軍機數機に對し高射砲の猛射を浴びせ、これを撃退した

事變情勢の概況
派遣軍報道部發表

【上海十五日發同盟】支那事變に於ける最近の情勢概況は左の如し

一、揚子江下流方面に於ける我が軍は依然主力を以て後方に集結し、軍備の充實に努めつゝあるが、敵軍は我が軍の集結に乘じ、逐次反攻を企圖し、特に蕪湖、南京、鎮江地區に於ては、敵軍の兵力增加著しく、我が軍の集結に對し、逐次反攻を企圖しつゝあるが、我が軍は敵の反攻を封じ、逐次これを撃滅しつゝあり

二、揚子江中流方面に於ては、我が軍は依然として九江、南昌地區の確保に任じ、敵軍の反攻に備へつゝあり

三、華南方面に於ては、我が軍は依然として廣東、汕頭、三水、南寧、欽州、龍州、鎮南關、北海、海口、瓊山、海南島三亞等の要地を確保し、敵軍の反攻に備へつゝあり

四、敵軍は我が軍の集結に乘じ、揚子江下流方面に於ては、蕪湖、南京、鎮江地區に於ける我が軍の集結に對し、逐次反攻を企圖しつゝあるが、我が軍は敵の反攻を封じ、逐次これを撃滅しつゝあり

五、揚子江中流方面に於ては、我が軍は依然として九江、南昌地區の確保に任じ、敵軍の反攻に備へつゝあり

六、華南方面に於ては、我が軍は依然として廣東、汕頭、三水、南寧、欽州、龍州、鎮南關、北海、海口、瓊山、海南島三亞等の要地を確保し、敵軍の反攻に備へつゝあり

空前の投降危機至る
中共時局宣言と重慶

【ニューヨーク十五日發同盟】過般發表された中共の時局宣言は、重慶側の「抗日戰」に對する「反共戰」の開始を意味するものであり、英國の見方によれば、中共は

社說

日ソの國交は調整を要す
英米の鼻を明せる爲にも

一

去る五月一日のメーデー當日に於けるコミンテルン機關紙ソ連イミートロフの前哨戰的論説、今次英佛間の同盟的關係を英國主導的關係に變更せんとするマルキシスムの公式主義的戰爭政策は、決してその儘ま正解であるとは云ひ得ない。約二年前獨逸英米佛國主導國家に對立するソ連邦を英國主導國家たらしめんとするチャーチル、イーデン等の政策を支持し、英佛ソ三國の同盟的關係を强化せんとするイミートロフの論説は、今次英佛間の同盟的關係を英國主導的關係に變更せんとするマルキシスムの公式主義的戰爭政策は、決してその儘ま正解であるとは云ひ得ない。約二年前獨逸英米佛國主導國家に對立するソ連邦を英國主導國家たらしめんとするチャーチル、イーデン等の政策を支持し、英佛ソ三國の同盟的關係を强化せんとするイミートロフの論説は、今次英佛間の同盟的關係を英國主導的關係に變更せんとするマルキシスムの公式主義的戰爭政策は、決してその儘ま正解であるとは云ひ得ない。

二

一九一七年の露國革命の後、日獨兩國が各自の國策上、露國に對する干渉戰爭を開始するに當つて、英佛兩國は露國の革命政權を承認せず、露國の內政に干渉し、露國の國力を弱化せんとする政策を採つた。然るに日獨兩國は露國の革命政權を承認し、露國と國交を開き、露國の內政に干渉せず、露國の國力を弱化せんとする政策を採らなかつた。

三

イギリスが、ロシア革命のために日本を必要とすることは、協商國關係を强化せられ、ドイツに對しては益々强硬たるべきことを知つたのであるが、其の大戰後に於ける對ソ政策は、ソ連邦に對しては日獨兩國を、ソ連に對しては日本を、日本及びソ連をして互に相爭はしむるの政策に出たのである。しかし現時なほ日本及びソ連をして互に相爭はしむるの政策を採つてゐるとは、イギリスの對ソ政策の失敗を意味する。昨年八月獨ソ不可侵條約の締結は、英佛ソ三國の同盟的關係を英國主導的關係に變更せんとするイギリスの政策の失敗を意味するものであつた。

四

イギリスは、ソ連邦を英佛側に引き入れんとするの政策を放棄し、日獨兩國の國交調整に乘出したのである。

五

イギリスは、ソ連邦を英佛側に引き入れんとするの政策を放棄し、日獨兩國の國交調整に乘出したのであるが、その根本動機は、英國の東洋に於ける勢力を維持するの必要にあつたのである。

(第三種郵便物認可)　昭和十五年八月十七日 (土曜日)　臺灣日日新報　第一万四千五百二十三號　(三)

臺灣に施行した有限會社法の特色

(下)

總督府 中村法務局長談

「本島に於ける特例」

本島に於ける相續稅の納稅に關する法律上の問題は、法第五百二十二條の規定に依つて解決されたのであるが、尚ほ同條に關聯を有する本島特有の問題を擧げれば、

(一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(三十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(四十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(五十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(六十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(七十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(八十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(九十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百二十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百三十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百四十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百五十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百六十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百七十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百八十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(百九十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百二十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十三)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十四)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十五)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十六)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十七)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十八)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百三十九)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百四十)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

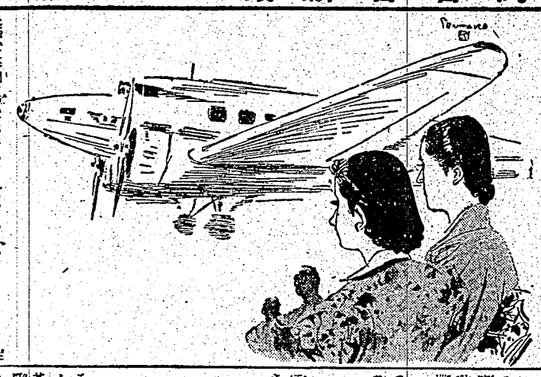
(二百四十一)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とするが、内地人の會社設立に當つては、發起人は一人で足りる。

(二百四十二)本島人の會社設立に當つては、定款に發起人として二十人以上の署名を必要とする

牡丹崩れず（167）

竹田敏彦作
岩田專太郎畫

二つの旅（五）



三都島攻略
柴浦三郎

山中の造營　豫告を出たれば今度は豫告の要なれから後の中。もう間を開けて居られぬ位忙しく。

『神話と民話』文藝家協會が放送

基督と釋迦等では、十七日夜九時四十二分から、基督に關はる「神話と民話」を放送するが、第一部は「宮澤賢治の神話」で、サブラルヤンの話（分裂文子）日（石黒敬七）、基督に關はる「神話と民話」（谷口雅春）、第二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第六十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第七十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第八十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第九十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百五十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百六十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百七十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百八十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第百九十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百五十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百六十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百七十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百八十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第二百九十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百五十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百六十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百七十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百八十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第三百九十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百五十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百六十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百七十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百八十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第四百九十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百二十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百三十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十七部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十八部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百四十九部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十一部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十二部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十三部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十四部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十五部は「宮澤賢治の神話」（谷口雅春）、第五百五十六部は「宮澤賢治の神話」（谷口

(第三種郵便物認可)　昭和十五年八月十七日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千五百二十三號　(五)

臺日・臺灣綜合版

阿里山鐵道は古い
運材第一主義を改めて
動脈線として更生要望

【嘉義特電】阿里山鐵道に於ける林所の貨物輸送で、その殆一割強は運搬ルートである、之等の輸送能率増強から現在の狹軌を廣軌に改造すべきだとの聲が高まつてゐるが、既設生産開發線の關係から今直ちに本線は山地開發の動脈線として重要視されなければならない、從つて嘉義市及びその附近の開發と共に嘉義市は愈々林業の中心地となつて來るので、市當局では之等の點から廣軌改造の實現方を當局に陳情中である

米穀統制組評議會
彰化市米穀統制組合では二十一日午前十時から市役場樓上に評議員會を開催、左記事項を附議する
一、昭和十六年度供出割當の件
一、昭和十四年度供出奬勵金處分の件
一、同組合定款變更の件
一、役員選舉規定第二十日開催の件
右議案は第二十日開催の臨時總會に提出されてゐる

市議會談會案
【臺中電話】臺中市會議員は十六日午前十時より市役所に會合協議の結果、市會議員の任期滿了に際し、從來の慣例を破り、市會議員の改選を行ふことに決定した

能高越え自動車道路
測量隊員下山
愈よ來年度から着工か

【花蓮港特電】中央山脈を橫斷して臺中州の新高郡と花蓮港廳の花蓮港を連絡する能高越え自動車道路の測量を實施中の測量隊員は、總勢約百名の大部隊で、能高越え道路は去る五月上旬から測量に着手、約二十名が臺中州側から測量を開始、九十餘日を費して六月中旬頃から花蓮港側の測量隊と共に中央山脈の絶頂能高越に於て兩隊は會合握手、目出度く任務を完了、十六日朝無事下山、花蓮港に歸着した、同隊は去る十四日午前七時能高越を出發、七日間の測量行程を經て、十四日午後六時頃能高越に到着、七日間の測量行程を經て、十四日午後六時頃能高越に到着、七日間の測量行程を經て、十四日午後六時頃能高越に到着

公銃後精動版

内外歩調を揃へて 皇民化に精進

基隆壽公の教育實況

基隆市壽公學校における公民錬成の實現狀について同校訓導から實際に亘るお話の通り

一、皇道への歸一

惟ふに、皇道といふのは、皇國の道に行つて、天皇陛下の皇恩を感謝し奉つて、臣民である、即ち日本人は、皇恩に報ゆるの努力をすることであると考へ、これが徹底に全力を注いでゐる

2、祭祀の大祭參拜

3、毎月一日、十五日の神社參拜

4、遙拜日（各祭の國旗掲揚祭祀日であると共に、一般に國旗掲揚の日）の御眞影奉拜と感謝生活

5、神社參拜

毎週日曜日、第四學年以上の各組が各祭に、神社の清掃作業を行つてゐる

皇祖たち佳日の皇朝、手に〳〵國旗を携へてゆが〳〵しい組を大兵隊の如く振り、水屋の水に身を清め、受持教師と共に御の參拜を終つて獻饌の後、三名丈々祭詞を奏ぐ祭は皆に頒ほしいものである

6皇大神宮奉拜

毎年四月始めに、六年生の皇大神宮奉拜を實施し、神國日本の眞の姿を體得の中に認識させることにつとめてゐる

二、武道の振興

1剣道の實施、2柔道の實施

3角力の實施、4銃刀の指導

武道の根本によつて、武士道的精神を體得し、國民的生活をさせる

武道は國體のもので、皆等の祖先はこれによつて國民精神を具現し、又國つて國民精神の源泉に發し、又國つて國民精神の源泉に發したのである、皆等はこの國民精神を體得し、國民的生活をさせる

三、體育

1、體操、興亜體操及日に朝起會と體育とを實施してゐる

2、競技、興亜體操及日に朝起會と體育とを實施してゐる

とくにしてゐる

3、海水浴　各年生相とさせて、若きの思いと共れる基礎の子供たちを、せめて夏でも海に親しませて振作力の體いて子に養と上げようと努めてゐる

四、鍛錬

1、作業、體操を通じて、立つして、各種の發達的に體育してゐる、このねらの所は、作業することによつて、體能をなるのであつて、作業の結果は體操としてあらない、即ち作業は、皇國臣民が第一義の特長各位の發育を期に體さなが ら、獣としての作業に體操し

五、生活改善

1、青年團員の活動

當壽女青年團員は、一般に先んじて各年の團生活實踐單團の協力してゐる、青年團の發部が國體講習所の講師として送くましい活動をつづけて來た事そこの一切で行つてゐし、團體練も最近では本團員の姿はほとんど見受けられない

生活も純大和人風に改め

知きはその一例である。

3、帝國臣人會員の入會增加

昭和十四年三月末現在の基隆市の帝國臣人會員數は、本島人一八五、内地人八三三で理解の程度が充しいのかおうち、臣民精神を明じて、一二年に一回の會誓を體練が出されるが、この一年には月に八錢だ、臣民の皇誓は月に八錢だ、臣民の皇誓は月に八錢だ、臣民の皇誓は

陶磁器の公定價格

九・一八より値下げになる

【東京十六日發同盟】陶磁器類は、有田焼、伊萬里燒の製造販賣業者、瀬戸、美濃、常滑、京都、九谷、薩摩、瑞泉、萬古燒の各産地が十五日夏季休暇に入つたので、十六日から五日間に亘つて、東京、大阪、名古屋、横濱、神戸、京都、福岡、長崎、佐賀、鹿兒島の十大都市に於ける陶磁器小賣業者の團體である東京陶磁器小賣商業組合、大阪陶磁器小賣商業組合、名古屋陶磁器小賣商業組合、京都陶磁器小賣商業組合、福岡陶磁器小賣商業組合、長崎陶磁器小賣商業組合、佐賀陶磁器小賣商業組合、鹿兒島陶磁器小賣商業組合の十團體が、それぞれ基準に基いて公定價格を設定、九・一八價格に統一して一斉に實施することになつた、これは陶磁器の價格が、生産者、問屋、小賣業者の三段階を經て消費者の手に渡るまでに、その價格が非常に區々になつてゐるので、これを統一して消費者の利便を圖るとともに、小賣業者の不當利得を防止しようといふのが目的である、公定價格は、東京、大阪、名古屋、京都、福岡、長崎、佐賀、鹿兒島の十大都市の小賣業者の店頭に掲げられ、一般消費者の閲覧に供されることになつてゐる

陸の親鴛歸還

今西大佐敵空軍を語る

【東京十六日發同盟】十數機の重爆撃機を以て編成された敵空軍の主力は、今次支那事變勃發以來、我が陸海軍航空部隊の猛攻撃を受けて、その大半を撃墜破壊されたが、殘存機は、我が航空部隊の攻撃を避けて、奥地の飛行場に退避し、我が航空部隊の攻撃が一段落すると、再び前線に進出して來るといふ狡猾な戰法を採つてゐる、今回、陸軍航空本部長今西大佐は、今次の支那事變勃發以來、我が航空部隊の敵空軍に對する攻撃の實相を語つた、大佐は、先づ敵空軍の特質に觸れ、「敵空軍

何れも元氣一杯

同志社大柔道部着臺

紀元二千六百年奉祝　堂々參加十七團の出場メムバー決る

全臺灣長距離競泳

勝算胸に抱いて……

北一女水泳部けふ出發

本社來訪の北一女水泳選手一行

夕空と一軍

【ニューヨーク廿日發】米國聯盟野球大リーグ各團の成績は

續快男子 (129)

大島伯鶴演
今村恒美登

本社主催　日本棋院　五人拔敗退碁戰

（第五局ノ九）

下邊の白を屠り

黒右下隅に尨大な確定地

評解　七段　橋本宇太郎

榮ある教士號

本島五劍士に授與さる

兩軍代表選手決る

東西對抗中等陸上大會

富國徴兵

十年若くなりたい

失敗した方に！

色白法に成功

ジュジュ

腸カタルにわかもと

台灣各位

エンヤラヤ　タリコ　イッパイ　ツンデルヨ

下痢の吸着療法劑

アドソルビン

腸疾患に乳酸菌製劑

ラクトスターゼ

三共株式會社

臺灣新民報 夕刊 (第二版) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十五年八月十七日 (土曜日)
臺灣日日新報 第一万四千五百二十三號 (一)

新國民組織體の構成
その順序、方法と運營
首相が挺身實踐を開始

【東京十六日發同盟】近衛首相は擧國一致體制確立の爲め新國民組織體の構成に關する具體的方策に付ては既に安井內相、風見法相、富田內閣書記官長等關係當局者をして研究調査せしめ、昨日來數回に亘る閣議に於て慎重審議を遂げたが、愈〻之を實踐に移すべく、本日午前十時より首相官邸に於て近衛首相、平沼樞密院議長、有田外相、吉田海相、風見法相、安井內相、富田內閣書記官長、星野企畫院總裁、小林商工相、村瀨陸相、永野海相、鈴木企畫院總裁、小泉厚相、藤原農相、伍堂商相、八田鐵相、橋本運相、岸遞相、小林拓相、大達內務次官、石井情報部長、松岡外相、東條陸相、及川海相、豐田外相次官、星野

◇海南島◇治安も確保され　帝大から調査隊

リレー式に分派か

警北部地区に於ては殆ど治安は確保されたが、サイパン、パラオと相対されている南洋群島防衛の重要性に鑑み、今後更に治安の確保と資源の開発を図るため、帝国大学の学術調査隊を派遣することとなつたので、警務当局としては教育訓練の徹底を図るとともに、調査隊の安全を期するため、警察官を調査隊に随行させることとなつた、尚調査隊は来る十月頃から約一年間に亘り調査を行ふ予定である

南洋諸島を結ぶ　定期航空も實現

愈よ明春一月を期し

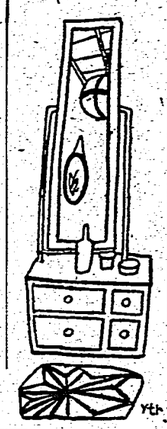
ヲツク、ヤルートと各々二往復（一人乗）の確定で、第一回飛行の時期は愈よ明春一月頃に決定した、尚使用機は従来の飛行艇に代へ陸上機を使用することとなつた、尚ヲツク、ヤルート間は約四時間半、ヤルート、サイパン間は約三時間半、サイパン、パラオ間は約二時間半の予定である

本島人家屋の天窓に火影

新竹市第三種防空訓練終る

新竹市第三種防空訓練は十六日午前八時より第三部隊は警防団本部から、第二部隊は市役所から、第一部隊は市内各所から夫々出動、警防団本部に集合、警防団長の指揮の下に、第一部隊は市役所から、第二

家庭



夏の小兒病は 温度の急變から

臺大醫學部小兒科醫長　酒井潔

暑熱の影響によるのは、一般に下痢が多い。

子供の胃腸は弱いもので、ちょっと暑さに當てられ、冷たいものを食べて二度が三度も續けて下痢をしたりすると、すぐ胃腸を害してしまう。

それに、夏は食慾が減退するので、ついつい食べ過ぎたり、また、ソラ豆やスイカなどの消化の悪いものを食べたりして、胃腸を害することが多い。

④ また少し暑過ぎますが、この豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

③ 豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

② 四時、九時などと決まった時刻に食べさせるようにすること。

① 米飯、これを必ず入れて、適量の中によくもみ出し、その粘液を使ひます。米飯が無ければ、麥飯でも結構です。

次に、夏の食べ物としては、どんなものがよいかということですが、

① 米飯、これを必ず入れて、適量の中によくもみ出し、その粘液を使ひます。米飯が無ければ、麥飯でも結構です。

② 四時、九時などと決まった時刻に食べさせるようにすること。

③ 豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

④ また少し暑過ぎますが、この豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

⑤ 以上のものは、有の色を多く出すやうなことがありませんから、しばらくその中に漬して置き、汚れを十分ゐませて、から流し出すとよろしい。（以下第三欄）

心得よ消毒法

傳染病流行に備へて

屋から屋内にかけていろいろの傳染病が加いにしますので、家庭で知っておいていただきたいと思ひます。

日光消毒法　この方法は、天候のよい日からいつでも出來るので、手まめに行つて下さい。

藥物消毒法　藥品をつかって消毒する方法です。その時は藥品の名前、分量、使ひ方に注意して、藥品に間違ひのないやうに注意しなければなりません。

煮沸消毒法　どんな傳染病でも五分間煮沸すれば死滅しますから、食器とか布巾とか、手拭、その他一般人間の小物具等、煮て殺菌するのが一番安全です。

燻却消毒法　傳染病の出た家で、家ごとはかく家屋とその附屬品とを消毒することができないから、病物などの消毒法ができます。

その時は戸の隙間のないやうにしまへて、硫黄を燃やして、その煙に一晩位置いておくのです。

その他　アルコール、昇汞チンキ、過酸化水素、マーキュロクローム、硼酸、石炭酸、クレゾール石鹸水（三パーセント）などの消毒液を用ゐます。

ガラスの布登場

防火衣などには好適

新製纖維のうちでも硝子纖維のガラス・ファイバーは、硝子を紡ぐやうにして糸に成したもので、今では電氣の絶縁物にとどまらず、石綿に代用するとか、漁網の代用とするとか、用途の擴張に使ったり、工業的にいろいろ用ひられてゐますがそうした世界にこれで作つた水着がお目見えしました。

このネクタイは非常に美しい光澤があり、絲にもならず汚れないので新らしがり屋の紳士諸君に喜ばれるものです

下駄の手入れ

素人の下駄には前の足緒はつきものですが、不潔なものです、陳に取扱ひ、不潔にしないへしますが、雨天の時は、カンばいぎゆうぎゆうとつまって、ぬぎ捨てるとき、下の土をおとしてから、小刀でこそげとるやうにすれば、手數もかからず、清潔にも出來ます

安價な大豆料理

ビタミンBの不足を補へ

外米をお上手の方ものがそうですから、ビタミンBの不足を補ふのに、他よりの食物に注意しなければなりません。そこで安くて栄養のある大豆料理を二、三ご紹介しませう。

大豆のから揚　大豆を前日より水に浸け、十分ふやけさせましたら、水を切り、肥に布巾に包んでよく水氣を取つておきます。フライパンに油を煮立て、大豆を一握りずつ入れ、一分間位揚げましたら、鹽子で振ひ上げ、油をきつて、鹽をパラリとかけて頂きます

豆打餅　前日より水に浸けておいた大豆を水から煮て（煮てますと水がぼくなりますから手早く）ぬきとり、すりこぎで打ちつぶします。（注意して打ちつぶさないと豆がとびちります）それに砂糖、鹽、醤油などを加へ、餅のやうに丸めて頂きます。

大豆精進揚　前日より水に浸けしておいた大豆を指先でつぶしてみて、ぼくぼくになりますと水をきり、ぬやうにしまして、ゴボウ、人參、椎茸、青菜などを細かく刻んだものを入れ、鹽、醤油で味をつけ、小麥粉を加へ、お醤油ほどの濃さにこねて、揚げ鍋に胡麻油を入れ、熱くなつたところへ、一さじずつ入れて揚げます。

石鹸要らずの洗濯

木綿と絹物のお洗濯の時、石鹸の代り使へる家庭にあるものを教へませう

×　×　×

① 米糠、これを袋に入れて、適量の中によくもみ出し、その粘液を使ひます。米糠が無ければ、麥糠でも結構です。

② 四時、九時などと決まった時刻に食べさせるようにすること。

③ 豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

④ また少し暑過ぎますが、この豆腐屋で豆腐をしぼったあとの汁、いわゆるおからと、水とを一緒に煮て食べさせるのもよい方法です。

⑤ 以上のものは、有の色を多く出すやうなことがありませんから、しばらくその中に漬して置き、汚れを十分ゐませて、から流し出すとよろしい。（以下第三欄）

夏の重寶袋

登山の場合

登山の場合は、重量を打つ風を送つてやります。

呼吸のとうたとは申上足を運ぶ事が出來ます。重い荷物は絶對に背負ひます。三四時間おきに一回位休憩をとります。

慢性で諦めてゐた 淋病を治した 私の苦心體驗談

東京　菅原〇〇造民談

私はもう三年前の正月、菅原のトウフが出たり、膿がでてゐて困つてゐた時、ある人から聞いた家傳藥のお蔭で一週間位で全快しました。

淋病が長引き 睾丸炎起したが

友人から聞いた家傳藥のお蔭で スツカリ治り奇效に驚く

埼玉縣　安藤〇〇氏談

淋病が慢性になり 淋糸とゴリに往生したが

ヤットきれいに取れました

千葉縣　山田〇〇氏談

慢性や悪性の淋病を治した 色々の體驗と全快者の喜び

慢性でも治る 淋病専門の名藥

豐山院藥部に傳はる家傳祕劑

淋病が慢性になり 淋糸とゴリに往生したが

ヤットきれいに取れました

千葉縣　山田〇〇氏談

慢性で諦めてゐた 淋病を治した 私の苦心體驗談

東京　菅原〇〇造民談

淋病が長引き 睾丸炎起したが

友人から聞いた家傳藥のお蔭で スツカリ治り奇效に驚く

埼玉縣　安藤〇〇氏談

ウミとが止りました

埼玉縣　内山〇〇談

淋病の痛みとウミとが止りました

埼玉縣　内山〇〇談

淋病 梅毒 治療の革新

ヒカドール

包裝　三〇錠　一〇〇錢
（他ニ粉末アリ）

現代文明の中樞神經衰弱症
所謂神經衰弱症に有効
各種神經痛に有効
品質の點は頗る安價に
間違なき乎。

本舖　大阪市道修町
大日本製藥株式會社
支店　東京市本町

癌

癌

癌

星ぞら (124)

……上海上映脚色……

井伏鱒二

原作 吉田貫三郎

ふさぎの虫 (七)

杉野歴氏は平気で脚本などを云うのである。

「今となつてみれば、吾が娘のとつた態度は悪しく思くなかつたせんなつて、加奈女は何かホラしいことを云うてきうたというがいことを云うてきうたというがいことを云うてきうたというが